

伊吹山を守る自然再生協議会 入山協力金事業部会

令和4年度期末決算 伊吹山入山協力金事業報告書
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

I. 収入 16,391,206 円

(項1) 伊吹山入山協力金 14,427,276 円

(参考)	2015年度(平成27年度)	12,312千円
	2016年度(平成28年度)	13,819千円
	2017年度(平成29年度)	13,771千円
	2018年度(平成30年度)	12,172千円
	2019年度(令和元年度)	14,018千円
	2020年度(令和2年度)	11,146千円
	2021年度(令和3年度)	11,586千円

(項2) 雑収入 33,514 円

- ・寄付金：有限会社 伊吹・旬彩、伊吹小学校 33,410 円
- ・預金利息 104 円

(項3) 繰越金 1,930,416 円

- ・前年度繰越金 1,930,416 円

II. 支出 12,133,887 円

(項1) 公衆便所維持管理事業 2,530,703 円**【1 公衆便所維持管理事業】** 1,800,000 円

- ・伊吹山公衆便所維持管理に係る助成費(米原市)

【2 公衆便所維持補修事業】 730,703 円

- ・伊吹山公衆便所修繕料(カトリ住設他)

(項2) お花畑維持管理事業 3,991,588 円**【1 三合目貴重植物保全事業】** 795,782 円

- ・三合目貴重植物保全委託業務(ユウスゲと貴重植物を守り育てる会)

【2 山頂等貴重植物保全事業】 3,195,806 円

- ・委託料 1,170,699 円 ネット上下げ(米原市シルバー人材センター、伊吹山観光振興会)、植生保全事業(伊吹山もりびとの会)、定点植物調査(伊吹山ネイチャーネットワーク)
- ・獣害扉設置工事請負費 49,500 円((株)久田)
- ・ドアノブ修繕料 22,000 円(カトリ住設)
- ・ネット資材消耗品費 1,629,627 円(正和商事(株)他)

- ・ボランティア事業バス借上等使用料 121,100 円 ((有)みゆき観光バス他)
- ・通信運搬費 1,690 円 (ヤマト運輸 (株))
- ・鹿追出し手数料 128,000 円 (滋賀県猟友会米原支部)
- ・保険料 73,190 円 (東京海上日動他)

(項3) 登山道維持管理事業 2,192,410 円

【1 山頂等登山道維持管理事業】 1,673,790 円

- ・ネット点検補修、張替え 1,354,735 円 (伊吹山観光振興会他)
- ・登山道ロープ等消耗品費 319,055 円 (近江屋ロープ (株) 他)

【2 表登山道等維持管理事業】 518,620 円

- ・登山道保全委託料 44,299 円 (伊吹山もりびとの会)
- ・登山道用消耗品費 9,651 円 (又サ的場商店他)
- ・ネット点検補修、張替え報酬 464,670 円 (有償ボランティア)

(項4) パトロール事業 77,204 円

【1 応急手当対策事業】 77,204 円

- ・AED 使用料 67,392 円 (リコーリース株式会社)
- ・薬代 9,812 円 (久保薬局)

(項5) 啓発・収受事業 2,674,274 円

【1 啓発・収受事業】 2,674,274 円

- ・委託料 (収受啓発) 1,817,630 円 (上野区)
- ・委託料 (学習啓発) 474,016 円 (伊吹山ネイチャーネットワーク、伊吹山もりびとの会)
- ・印刷製本費 282,576 円 (かなや)
- ・収受用消耗品 79,400 円 (近江理工他)
- ・啓発事業報酬 20,652 円 (伊吹山もりびとの会)

(項6) 事務経費 667,708 円

【1 事務経費】 667,708 円

- ・源泉所得税 (公課費) 76,290 円 (長浜税務署)
- ・伊吹山ドライブウェイ通行料 (使用料) 299,900 円 (日本自動車道 (株))
- ・振込手数料等 105,810 円 (レーク伊吹農協)
- ・報酬 185,708 円 (顧問費用弁償等)

IV. 基金

基金総額 7,000,000 円

- ・植生防護柵基金繰出金振替 4,500,000 円 (平成 29 年 5 月 25 日)
- ・登山施設改修基金繰出金振替 2,500,000 円 (平成 29 年 5 月 25 日)

伊吹山を守る自然再生協議会 入山協力金事業部会

令和4年度(2022年度) 決算書

資料1-2

収入

(単位:円)

項	目	予算現額 (A)		収入済額 (B)		摘要	差引額 (B-A)
(1) 伊吹山入山協力金	1 伊吹山入山協力金	14,150,000		14,427,276		入山協力金(入山者)	277,276
(2) 雑収入	1 雑収入	50,000		33,514		寄付金(伊吹・旬彩、伊吹小) 33,410円 利息104円	▲ 16,486
(3) 繰越金	1 繰越金	1,500,000		1,930,416		昨年度(R3)繰越金	430,416
合計		15,700,000		16,391,206			691,206

支出

(単位:円)

項	目	予算現額 (A)		支出済額 (B)		摘要	差引額 (B-A)
(1) 公衆便所維持管理事業	1 公衆便所維持管理事業	2,200,000	1,800,000	2,530,703	1,800,000	助成費 1,800,000円(米原市)	330,703
	2 公衆便所維持補修事業		400,000		730,703	修繕料 730,703円(カトリ住設他)	
(2) お花畑維持管理事業	1 三合目貴重植物保全事業	5,500,000	900,000	3,991,588	795,782	委託料 795,782円 (ユウスゲと貴重植物を守り育てる会)	▲ 1,508,412
	2 山頂等貴重植物保全事業		4,600,000		3,195,806	委託料 1,170,699円 (米原市シルバー人材センター他) 工事請負費 49,500円(株)久田 修繕料 22,000円(カトリ住設) 消耗品費 1,629,627円(正和商事(株)他) 使用料 121,100円 (有)みゆき観光バス他 通信運搬費 1,690円(ヤマト運輸(株)) 手数料 128,000円(滋賀県猟友会米原支部) 保険料 73,190円(東京海上日動他)	
(3) 登山道維持管理事業	1 山頂等登山道維持管理事業	3,350,000	1,750,000	2,192,410	1,673,790	委託料 1,354,735円(伊吹山観光振興会他) 消耗品費 319,055円(近江屋ロープ(株)他)	▲ 1,157,590
	2 表登山道等維持管理事業		1,600,000		518,620	委託料 44,299円(伊吹山もりびとの会) 消耗品費 9,651円(又サの場商店他) 報償費 464,670円(有償ボランティア)	
(4) パトロール事業	1 応急手当対策事業	70,000	70,000	77,204	77,204	使用料 67,392円(リコーリース株式会社) 消耗品費 9,812円(久保薬局)	7,204
(5) 啓発・収受事業	1 啓発・収受事業	4,000,000	4,000,000	2,674,274	2,674,274	委託料(収受啓発) 1,817,630円(上野区) 委託料(学習啓発) 474,016円 (伊吹山ネイチャーネットワーク他) 印刷製本費 282,576円(かなや) 消耗品 79,400円(近江理工他) 報酬 20,652円(伊吹山もりびとの会)	▲ 1,325,726
(6) 事務経費	1 事務経費	500,000	500,000	667,708	667,708	公課費 76,290円(長浜税務署) 使用料 299,900円(日本自動車道(株)) 手数料 105,810円(レーク伊吹農協) 報酬 185,708円(顧問費用弁償等)	167,708
(7) 予備費	1 予備費	80	80	0	0		▲ 80
合計		15,620,080		12,133,887			▲ 3,486,193

基金明細表

自 令和4年 4月 1日

至 令和5年 3月31日

(単位：円)

名称	前期末残高	当期増加 額	当期減少 額	期末残高	摘要
伊吹山を守る基金	7,000,000		0	7,000,000	植生防護柵基金繰出金振替（平成29年5月25日） ¥4,500,000 登山施設改修基金繰出金振替（平成29年5月25日） ¥2,500,000
計	7,000,000	0	0	7,000,000	

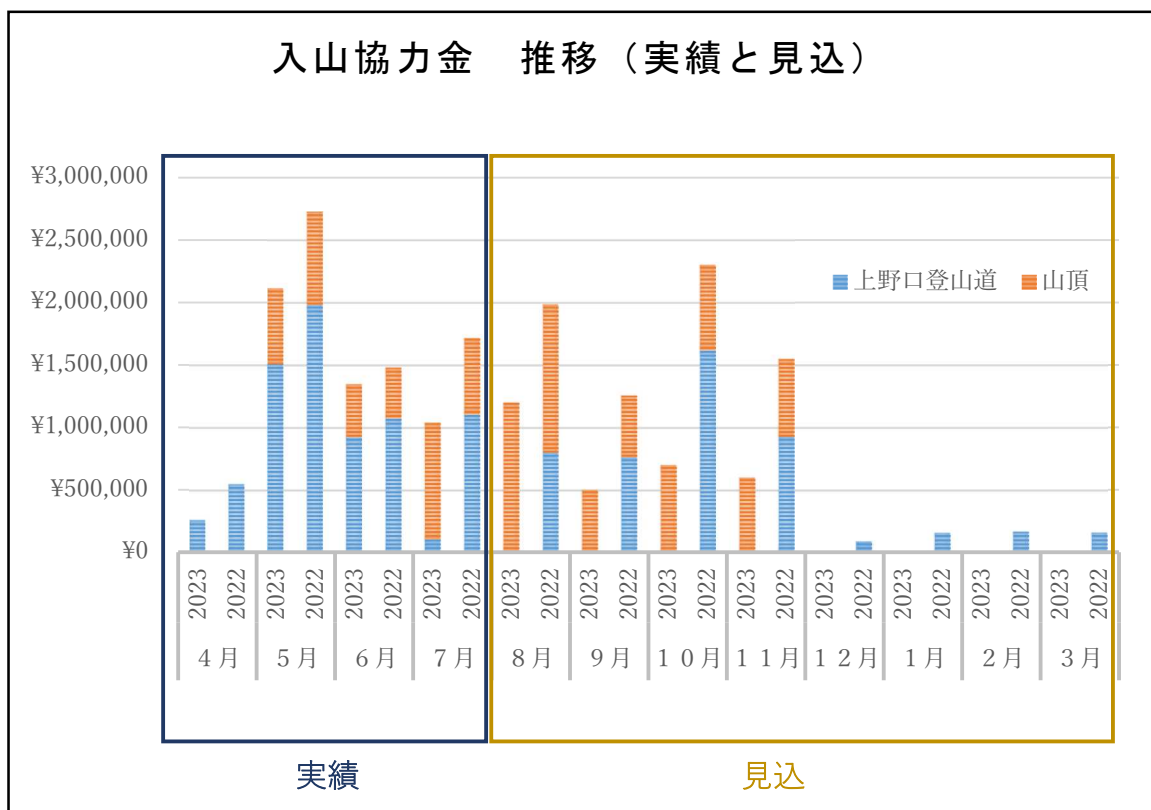
…Ⅲ

預金残高との照合

I	16,391,206	…	収入済額
II	12,133,887	…	支出済額
I- II	4,257,319		
+) III	7,000,000	…	基金残高
	11,257,319		※残高証明書(令和5年3月31日現在)と一致

入山協力金事業部会 令和 5 年度進捗状況（収入面）

- 令和 5 年 4 ～ 6 月は令和 4 年度とほぼ同程度で推移していたが、7 月 12 日の大雨による土砂崩れを受けて登山道側が入山禁止となり、復旧には長期を要する。このため、今年中は復旧困難と想定すると山頂側のみの収入となり、山頂側では昨年度と同等の収入を想定すると、令和 5 年度収入見込額は約 770 万円となり、約 670 万円の減額を見込む一方、令和 4 年度繰越額について、予算上は 200 万円と見込んでいたが、決算により 425 万円となったため、予算上 225 万円の収入増額となり、また山麓收受委託業務の收受員業務が不要となる分、支出 120 万円が減額の見込である。
- これにより 325 万円の不足が見込まれるため、看板設置事業（100 万円）は次年度以降事業として改めて計画するものとし、それでも不足が見込まれる分は、予備として想定している 240 万円から充当するが、天候等により山頂側の収入が減った場合は、余裕のない執行となる。



入山協力金事業部会 令和5年度進捗状況と今後の予定について**<進捗状況>****■公衆便所維持管理事業**

- ・山頂公衆便所の老朽化した手洗配管の漏水修繕を実施（4月発注、8月メイン配管完了、9月に完工予定）

■3合目貴重植物保全事業

- ・ユウスゲと貴重植物を守り育てる会の植物保全事業に補助決定（4月）
- ・資生堂の支援による化繊ネット柵の金属柵化事業（L=100m,H=2m）の実施（5月）
実施日：5/24（水）
参加者：ユウスゲと貴重植物を守り育てる会 8名、伊吹薬草の里文化センター 3名、
資生堂 34名、米原市自治環境課（伊吹山レンジャー含む） 3名
構造：金属柵（H=2.0m 3合目に設置実績のある2社に見積依頼、（株）キャムズが落札）

**■山頂貴重植物保全事業**

- ・伊吹山もりびとの会の植物保全事業、伊吹山ネイチャーネットワークの植物調査事業に補助決定（4月）
- ・花のゆりかご事業の実施（5月～）
- ・米原市により中央ラインに金属柵化事業（L=275m, H=2m）の設置（6月末）（財源：入山協力金半額充当予定 充当実施：年度末に予定）
- ・化繊ネットを一部メッシュへ変更・強化（登山道～西90m,中央上50m,西下20m）ユカエル改良版残り半分を差込式ネット柵に変更。（4～6月）
- ・鹿追出し事業の実施（6月27日）

■その他

- 山頂等登山道維持管理事業…伊吹山もりびとの会の登山道整備事業に補助決定。（4月）
- 啓発・環境学習事業…伊吹山ネイチャーネットワークの環境学習事業に補助決定。（〃）
- 啓発・収受事業…上野区に山麓の啓発・収受事業を委託。7月12日以降、協力金箱の管理以外は中断。（〃）

<今後の予定>

■山頂貴重植物保全事業

- ・ワイヤーメッシュによる補強

(延長) L=約 760m (材料) φ5mm,150mm 目 1×2m 重さ 4.3kg/枚 (高さ) H=2.0m

(予算額) メッシュ¥700/枚×750枚=¥525,000 + 支柱追加 (2.5m 間隔に 1 本追加) 200 本 (100 本は再利用) ×¥2300=¥460,000
=¥985,000≒1,000,000 (諸雑費込)

人件費：レンジャー (市費) + ボランティア (入山協力金¥3,000×60 人日=¥180,000)

時期の目標 R5 秋 (8 月下旬～10 月上旬) …L=250m(40 人日) R6 春 (3～5 月上旬) …L=510m (80 人日)

★その他, 全体の計画は別紙のとおり

- ・個別種保全の実施

イブキゴメグサ生息地 (崖地) の保全

①限られた進入口へのアーチ式獣害ネットの設置 (9/6 頃, レンジャー)

②ドライブウェイ待避所への人間の進入除けの設置 (9/6 頃レンジャー)

マネキグサ等の保全 (土留めの設置, フッキソウ生息範囲の追加保全) (9/20 頃, レンジャー)

■登山道維持管理事業

<目的>伊吹山在来植物を使った緑化に要する労力と効果を検証する。

<内容>緑化試験事業の実施：タケニグサ、キオンの採種、播種

他地域で緑化実績があり、また現在南斜面に生息しており、鹿不嗜好植物かつ日射量の多い南面での生育に適していると考えられる。

採種予定地…天然記念物、国定公園特別保護地区外の南斜面 (標高 700m 以上) (10 月～11 月)

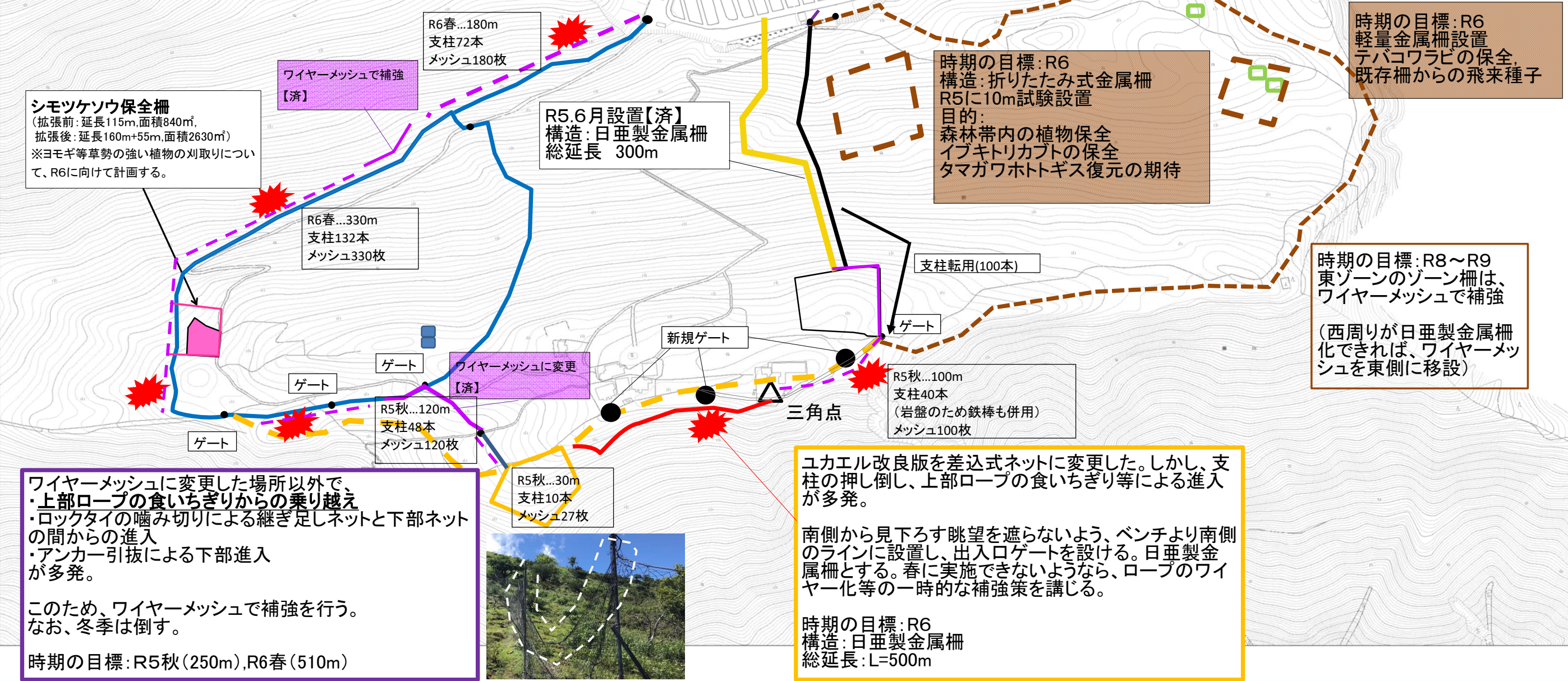
播種予定地…標高 1100m 付近 (7 合目付近) 100 m²、0.5kg ※3 合目で刈り取ったササを敷き藁に利用する。(11 月上旬)

<予算>ボランティア謝礼 ¥3,000/日×30 人日=¥90,000

伊吹山頂 植生防護柵設置状況 兼 計画図

山頂西部 20ヘクタール
全体を巡らす柵の金属柵化を進める

山頂東部 小中規模柵、スポット柵設置を進める
(スポット柵は詳細植生調査も併せて必要)



■伊吹山南側斜面（表登山道）の状況および令和5年7月12日の大雨による土砂流出について

【これまでの状況等】

- ・伊吹山での鹿の食害は2000年代（約20年前）に見られ始め、2012年（約10年前）から山域での鹿捕獲事業を継続してきたが、その後も鹿の数は増加し、2016年（約7年前）頃より、植物の種類が減少するだけでなく、根まで食べる鹿の被食圧と踏圧を受けて、植物の量が急速に減少していった。
- ・このため、斜面が裸地化し保水力を失い、降雨の影響による斜面の土壌浸食が広がっていった。特に伊吹山南面は歴史的に採草地として利用されてきたことから森林化しておらず、土壌浸食に拍車をかけることとなった。
- ・これらのことから、滋賀県長浜土木事務所が2021年度より年間240万～300万の経費をかけて、登山道の維持管理（補修等）を米原市に委託されている。
- ・2022年7月20日には麓の集落・溜池まで土砂が到達する被害が発生し、2023年6月に自然侵入促進型の種子無し緑化マットとアーチ式獣害ネット（面積140㎡、委託費187万円、設置：米原市）を設置するなど、土壌浸食防止のための試験的な取組を開始した。
- ・こうした中、2023年7月12日の大雨で再び土砂流出が発生し、登山道が一部崩落するに至った。また、8/15に最接近した台風7号により、さらに崩壊が広がった。



左：7/24ドローン撮影__斜面状況
（米原市まち保全課）

右：7/24撮影（8合目付近）
__浸食による登山道崩落（落差▲4m）

■土砂流出発生後の主な対応状況と今後の予定

- 7月12日(水)・15時-16時頃の集中的な雷雨により土砂流出発生、NPO法人霊峰伊吹山の会より第1報。
 - ・米原市、滋賀県（長浜土木事務所）、土地所有者（上野区）で情報共有、登山道閉鎖の方針を固める。
 - ・権限のある地元上野区長名義で入山禁止表示を立て、市は公式ウェブサイトで広報。
 - ・滋賀県はウェブ上の滋賀県道通行規制情報に全面通行止の情報を掲載。
- 7月13日(木)・降雨継続。詳細情報の確認の結果、2～3日ではなく当面復旧不可の見込みを確認。
- 7月14日(金)・報道機関へ資料提供し、広く周知。
- 7月18日(火)・米原警察、米原市名義で入山禁止看板を増設。
- 7月19日(水)・荒天のため県土木らによる現地確認予定を延期。
- 7月20日(木)・消防要請に基づき林道枝払い実施。
- 7月24日(月)・滋賀県道路保全課、長浜土木事務所、自然環境保全課、米原市自治環境課、建設課で現地確認。
- 8月15日(火)・台風7号最接近（後日上野区により現地確認、7合目登山道の崩壊進行を確認。）

8月	9月	10月	11月	
3合目土砂500㎡撤去 【8/7済】	登山道の修繕 【内容：別紙(作成__長浜土木事務所)】			修繕状況の確認

【事故を減らすための短期的な対応方針】

- ・自然景観を大幅に損ねることのないよう留意しつつ、事故を減らすため、登山道修繕の継続を行う。（長浜土木事務所）
- ・登山道を修繕しても、落石リスクは依然として高いことから、体力の無い高齢者や、雨天時や状況変化へのとっさの対応に劣る子ども達が登山に来ないように、状況の変化について周知を行う。（報道各社、登山関係企業に協力を依頼、特設サイトで周知）
- ・5合目へのライブカメラの整備と、伊吹山特設サイト（米原市設置予定）により、荒天時の注意喚起を行う。

■中長期的な自然再生と土砂流出対策について

鹿捕獲	○県および市が連携し、捕獲強化を行う。
南側斜面の土壌浸食対策	○伊吹山在来植物種子による緑化試験のため、タケニグサ、キオン等の採種を秋に実施する。 ○県および市が連携し、地形や土質に応じた土壌浸食対策等について、治山技術等の専門家の知見も得つつ、地元との合意形成を図りながら、中長期的な視点から対策の検討を進める。
砂防事業	○土砂災害による家屋被害を防ぐため、砂防事業が進められている。（県：勝山谷川砂防堰堤整備事業）

■災害支援の呼びかけ

多くの方から災害支援の申し出をいただいております、以下のとおり案内を実施している。

- ・ふるさと納税での支援（災害支援枠）
 - 災害支援のため返礼品はないが、ふるさと納税制度による税優遇措置有。
 - 通常と異なり、サイト経由でもサイト利用手数料は無料。サイトを使わない直接申込も可能。
- ・企業版ふるさと納税での支援（企業、団体向け）
- ・入山協力金での支援
 - 寄附控除の対象外となるが、入山協力金としての受け入れを周知。

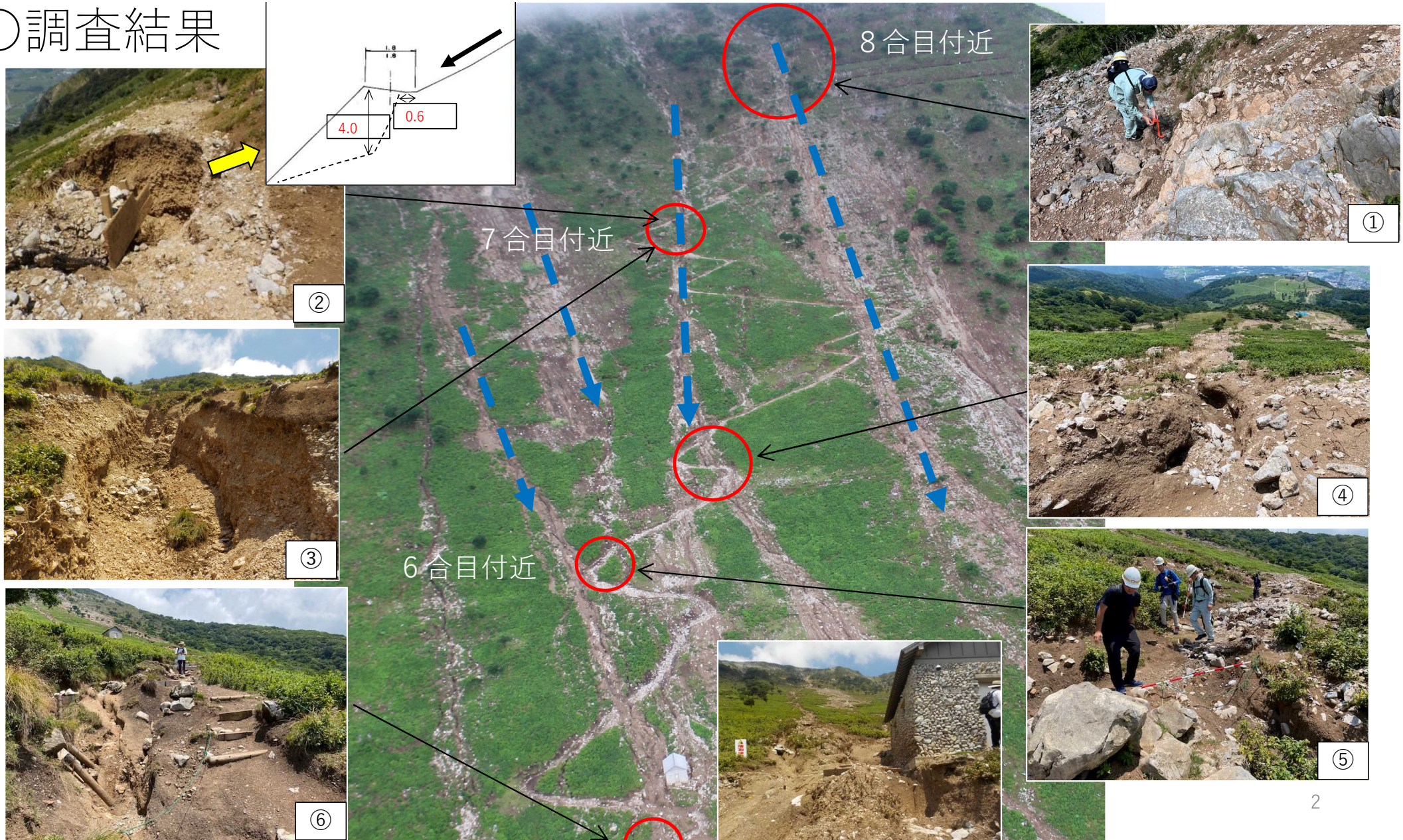
伊吹山登山道の修繕について

滋賀県長浜土木事務所

○現地調査

- 日時 令和5年7月24日（月） 10時～14時30分
- 参加者
 - 米原市 自治環境課 1名、建設課 1名
 - 滋賀県 自然環境保全課 2名、道路保全課 1名
 - 長浜土木事務所 3名

○調査結果



○修繕について



1.排水対策（分散・導流）



2.排水対策（土留め）



3.登山道修繕（板柵）



4.登山道修繕（袋詰めネット）



5.袋詰めネット（案）



6.落石対策（マット）

○課題について

- 資材や建設機械の運搬方法
- 作業期間 3 か月程度（降雪までに作業終了）
- 登山道を修繕する知識と経験が乏しい
- 工事が完了しても落石の危険性あり 等

2023.03.12 Sunday 2023年度総会を開催しました



総会を開催し、

2023年度の活動計画などが審議され、全て可決されました。午後からは、恒例の伊吹山麓の春の草花の観察会。16名の会員が参加し、伊吹山麓の春を満喫しました。報告は、鈴鹿の翡翠でした。

2023.04.19 Wednesday 伊吹山山頂の獣害予防ネット立ち上げ作業の報告です



伊吹山の自然を守る再生協議会主催の伊吹山山頂の獣害からお花畑を守るためのネットの立ち上げ作業に当会からも8名の会員が参加しました。霧が立ち込める中、再生協議会の関係者や他のボランティアの皆さんが協力し、各登山道に分かれ作業を行いました。報告は、LHD&Wanちゃんでした。

2023.04.21 Friday 表登山道9合目の鉄杭・ロープの設置およびバイパス登山道補修作業の報告です



表登山道9合目付近の鉄杭・ロープの設置および西登山道～表登山道へのバイパス登山道補修作業を行いました。

表登山道の8合目から9合目にかけて植生が少なくなったせいか非常に危険な箇所が多く、再生協議会の事務局である米原市に連絡をしました。報告はWANちゃんでした

2023.04.23 Sunday 弥高尾根の自然観察会の報告です



伊吹本山隣の弥高尾根の林道を弥高寺跡までピストンして自然観察を楽しみました。参加者は21名。今年は異常な花の早さのため、ターゲットのスミレのうちアケボノスミレは終盤のが1株のみで、もう

一つのヒゴスミレはすべて終わっていました。その他の花はニオイタチツボスミレとフイリフモトスミレ。ツクバキンモンソウと同種のタチキランソウ。ヒメハギ等々たくさんの花が綺麗に咲いていました。下山後は山麓で満開のホタルカズラと咲き始めのギンランが観察できました。報告は、シャラでした。

2023.04.24 Monday 西登山道の保護杭・ロープ補修の報告です。



西登山道の位置番号No47～49付近の保護杭のロープ補修作業を行いました。傾いたり倒れた支柱は、抜いて新しく打ち替え工事を実施し、ロープは一部交換をしました。ニリンソウ、セントウソウ、アマナ、アカヒダボタンなどの花も咲き始めており、来山の登山者の目を楽しませていました。報告はWANちゃんでした。

2023.04.28 Friday 西登山道の保護杭・ロープ補修の報告です。



西登山道保護杭補修及び防護補修作業を実施しました。傾いた支柱は補修、間隔が広い箇所は新しく杭を設置しロープを張りました。登山道脇は石灰岩が多く作業は困難を要しました。ロープの無い箇所は新しくロープに設置し、延長50mに及びました。花は、ニリンソウ・アマナ・タチスボスミレなどが見られ、登山

者の皆さんも花を楽しんでおられました。報告はWanちゃんでした。

2023.05.09 Tuesday シモツケソウ再生



地ネット上げ作業等の報告です

シモツケソウ再生地の防護ネットは大きな損傷もなく予定通りネット上げ作業は完了しました。

当会の会員に加え、再生協議会の呼びかけで多くの参加があった為、作業が予定より早く終了しました。皆さんありがとうございました。

ネット上げ作業終了後、山頂一帯及び東登山道の防護ネット等の様子を確認しながら下山しました。東登山道は、猪による土の掘り起こし箇所が多く見られ、荒れていました。報告は、Wanちゃんでした。

2023.05.10 Wednesday 西登山道保護杭及び防護ロープの補修作業の報告です。



4月28日の作業に続き、西登山道保護杭補修及び防護ロープ補修作業を実施しました。午後からは山頂付近の泥濘部分の補修についての事前調査を行いました。報告は、Wanちゃんでした。

2023.05.12 Friday 山頂一帯保護杭及び防護ロープの補修作業の報告です



会員5名で、山頂一帯の保護杭および防護ロープ補修作業を実施しました。（三角点より東登山道付近）

午後からは、西登山道脇に設置されていた植生調査用表示杭(90本)の撤収を行いました。報告は、Wanちゃんでした。

2023.05.17 Wednesday 植生調査の報告です



伊吹山山頂にて西登山道の一部とオオイタヤメイゲツの林床にて米原市による植生調査が行われ当会の会員3名が参加しました。

調査域に自生する樹木、草本を全てピックアップして重要種、絶命危惧種、保護対象種などを選定するもので、大変興味深く芽出しからすでに実をつけているものまで注意深く探して拾い上げ調査票に記録しました。

午前中の2時間ほどの作業でしたが実に90種を超える植物を見出すことができました。緊張を要する作業でしたがこれからも定期的な調査が行われる中で季節ごとに姿を変える植物をつぶさに観察できる機会をいただきました。時間が許す限り参加したいと思います。

また、この調査は獣害や気候変動にさらされる伊吹山の自然に人の手で何ができるか試されるものとなります。今日は山頂部分のほんの一部のみでしたがニリンソウやウマノアシガタ、フデリンドウ、スマレなどの花がたくさん咲いていました。今話題のヤマトグサも登山道わきに可愛らしいかんざしのような花を風に揺らしてカメラマンの注目を集めていました。報告はC-NAでした。

2023.05.21 Sunday エコツアーガイドの報告です。



のライチョウでした。

11時45分と遅いツアーガイドの出発でしたがその分、天気が回復、山頂では心地よいそよ風が吹くハイキングでした。西登山道、山頂含め草花はドンドン成長、間もなく多くの開花が見られそう。朝ドラ「らんまん」の影響か、名付け親、牧野富太郎の草花には感心大の様子。ヤマトグサ、イブキスマレ、イブキソモソモを名前だけ紹介。草花が少ない中、対岸まで見える琵琶湖に感激されました。琵琶湖ぐるっと一周三日間ツアー滋賀には有難いお客さんでした。報告は、立山

2023.05.31 Wednesday シモツケソウ再生地および山頂タポポポ定点観察地の植生調査の報告です。



伊吹山の自然を守る再生協議会顧問の青木繁先生の指導のもと、7名の会員で植生調査を行いました。シモツケソウ再生地内で確認できた植物は、90種近くになりました。一方、山頂の西洋タンポポポ数の定点観察地の個体数は、今年は21で4年ぶりに増加しました。

また、追加の調査として、現在のシモツケソウ再生地の横に拡張予定の保護予

定地の植生調査を行い、50種超えの種を確認できました。報告はれい&立山のライチョウでした。

2023.06.04 Sunday 西洋タンポポ除草イベントの報告です。



山頂付近の西洋タンポポは長年の当活動の成果のためか減少してきているので、今年度は登山道沿いの西洋タンポポの除草に重点を置き、西登山道班と中央登山道班に分かれ、登りながら登山道で見つけた西洋タンポポを除草していきました。登山道には岩や石が多く、取りづらい箇所に西洋タンポポは生えていますが、丁寧に除草していきました。昼食は、恒例の対山館の豚汁も美味しくいただきました。午後は、4班に分かれ、山頂一帯の除草を行い、下山も中央、西それぞれ登山道で取り残しを確認しながら下りました。今年の除草総重量は17.4kgでした。皆さんお疲れさまでした。報告は、鈴鹿の翡翠&シャラでした。

2023.06.07 Wednesday 西洋タンポポ除草活動の報告です



8名の会員で、4日に引き続き、山頂一帯の西洋タンポポの除草を行いました。午前中はドライブウェイ駐車場の周囲の西洋タンポポを全員で除草し、重量は13.8kgでした。午後は、女性4名で中央登山道から山頂、西登山道の西洋タンポポを除草し、重量は2.5kgでした。総重量16.3kgの西洋タンポポを除草しました。報告は、れいでした。

2023.06.11 Sunday エコツアーガイドの報告です。



東京からご来山の36名のお客様をお迎えしましたが雨と霧で視界が悪く安全第一をご理解頂きドライブウェイ駐車場周辺と西登山道の一部のみのご案内となりました。伊吹山の植物を楽しみに来られた方々ですので足元の小さな草花にも興味を示されて熱心に観察して頂きました。

バスの中で時間を頂き伊吹山周辺の集落と山の暮らし向きやトウキ、ヨモギなどの薬草について、また繊維や草木染の材料となったアカソや縄やむしろなどに使われたショウジョウソグの話を見せて頂きました。あいにくの雨ではありませんがこの山が皆様の記憶に残りまたのお越しの機会につながればと思います。報告は、C-N Aでした。

2023.06.14 Wednesday NHK「小さな旅」の収録がありました



NHKで放映されている「小さな旅」の撮影が始まりました、当会の保全作業や西登山道のシモツケソウ再生地の様子を撮影されました。16日はレポーターのアナウンサーが訪れます。報告は、立山の雷鳥でした。

2023.06.14 Friday 西登山道保護杭・ロープの補修 (NHK 小さな旅) 収録協力の報告です



14日と同様、今回も霧の濃い一日となった。西登山道折り返しの付近で保護杭とロープの補修作業と法面に落ちた碎石の回収作業を撮影されました。

撮影終了後、シモツケソウ再生地の山頂寄りの場所の防護ロープの補修作業(約20m)を実施しました。報告は、WANちゃんでした。

2023.06.19 Monday 東登山道防護ロープの補修作業 (NHK[小さな旅]収録協力) の報告です



東登山道の保護杭・ロープの補修作業を行い、延長150m程の作業を実施しました。

澄み切った良い天気となり、前回2日(14日、16日)とも濃霧できれい

な映像が取れなかったこともあり、本日も NHK の「小さな旅」の収録を実施されました。この伊吹山で収録された「小さな旅」の放送は、全国放送が 7/16 朝 8 時からの放映、滋賀県は 1 週間後に放映されるとのことです。報告は、WAN ちゃんでした。

2023.06.24 Saturday エコツアーガイドの報告です。



関東から琵琶湖周遊のお客さん、昨日の竹生島へのクルーズが天候不順で中止、今日の伊吹山が天気良くなり皆さん良い思い出ができた喜んで帰路に着かれました。山頂部が濃霧に包まれたため、特別な一等三角点が印象に残ったご様子。案内はトミーさんと立山の雷鳥でした。報告は立山の雷鳥でした。

2023.06.25 Sunday エコツアーガイドの報告です。



東京からツアー「琵琶湖絶景クルーズと天空の伊吹山」に参加され、来山された 4 3 名のお客様を naoさんと二人で案内しました。梅雨の合間のこの時期としては最高のお天気に恵まれ、山頂からの眺望は素晴らしく、琵琶湖に浮かぶ 4 島（沖の白石までも）すべてガイドできました。花は少し寂しかったですが、まだ満開のクサタチバナ、ヒヨクソウ、カノコソウ等々この時期に咲く花は観察できました。観察コースは何時も通り西登山道から山頂周回、中央登山道下り。伊吹山の魅力は伝えられ、満足いただけたとおもいます。報告は、シャラでした。

2023.06.27 Tuesday シカの追い出し作業の報告です。



伊吹山の自然を守る再生協議会主催のシカの追い出し作業が実施され、総勢 30 名が参加し、当会からも 7 名の会員が参加しました。

午前 6 時半に集合し、まず、山頂駐車場にて作業概要説明の後、中央登山道入口から山頂まで要所に約 10m 間隔で西登山道に向けて追い出し、二頭が西側へ。二回目は山頂より西登山道に向けた中央柵までを上から追い出しを行いました。大きくなった樹林下に幾つかの寝ぐらがあり 6 頭を追い出せました。報告は、立山の雷鳥と WAN ちゃんでした。

2023.06.30 Friday エコツアーガイドの報告です。



長野からお越しの 36 名様を立山の雷鳥(会長)さんと私 C-NA がご案内しました。大雨注意報の中、山頂駐車場より二班に別れて山頂目指しました。

皆様健脚で小雨と霧と風中でイブキトラノオやミヤマコアザミ、カノコソウなど伊吹山の特徴的な花だけでなくオオバコやシロツメクサなど平地でもお馴染みの野草にも興味を示していました。行き帰りのドライブウェイでは時々霧も晴れて景色やドライブウェイ沿いに咲くノリウツギ、イワガラミ、ツル

アジサイなども観て頂く事が出来ました。悪天候ではありましたがお客様のご協力ですぐに下山する事が出来ました。ありがとうございました。報告は、C-NA でした。

2023.07.02 Sunday 植生調査の報告です。



「伊吹山の自然を守る再生協議会」青木顧問の植生調査に会員 2 名が参加しました。

希少種を保護するため柵や網を被せながら植生の調査を行いました。

山頂北斜面では、キンバイソウやイブキトラノオの個体を多く確認できましたが、どれもシカの食害で株が矮小化して花を咲かせられないかどろろは分からない状態です。シカの食害を受けていない東登山道のバイケイソウが綺麗に咲いていましたが、入口付近のイブキトリカブトはシカに食べ尽くされていました。報告は、れいでした。

2023.07.07 Friday シモツケソウ再生地の除草作業の報告です。



午前中はシモツケソウ再生地の除草を行い、午後は 2 班に分かれて、ドライブウェイ駐車場周辺のフランスギクの除草と、希少種の植生調査を行いました。再生地をはじめ山頂周辺では、夏の花が咲き始め賑やかになってきました。報告は、れいでした。

2023.07.08 Saturday エコツアーガイドの報告です。



大阪方面からお越しの7名様をC-NAがご案内しました。

雨の予報でしたが小雨が降ったり止んだりのお天気で散策には支障なく西登山道から中央登山道のコースと駐車場周辺の植物をゆっくり観察していただきました。山頂一帯にはまだ目立ちませんがキバナノレンリソウ、イブキフウロ、ウツボグサなど一時期姿を消していた伊吹山ではおなじみの夏の花が咲き始めています。山頂のあちこちで見られるイブキジャコウソウも咲き始めて少し触れただけでさわやかな香りです。

シモツケソウ群落の再生地ではシモツケソウだけでなくイブキトラノオ、ミヤマコアザミ、メタカラコウ、コオニユリなどが共生して伊吹山本来のお花畑の姿に戻りつつあります。お客様には観察だけでなくお花畑の再生事業などの話も聞いていただきました。報告は、C-NAでした。

2023.07.16 Sunday 滋賀県知事が伊吹山に来山



本日は、滋賀県知事や米原市長が伊吹山を訪れられ、伊吹山の現状を視察されるとともにボランティア団体や地元の上野区の住民と意見を交わされました。当会からは会長の立山の雷鳥さんと私が参加してきました。今後の伊吹山の保全に期待が高まります。

報告は鈴鹿の翡翠でした。

2023.07.16 Sunday エコツアーガイドの報告です。



天気も良く適度な風が吹く西登山道をゆっくりご案内しました。琵琶湖がくっきりと見えて登山道斜面には鮮やかな黄色のキオンが咲き始めています。

花期は過ぎたもののヤマトグサを見つけて牧野富太郎が初めて名付けた花であることや伊吹山にも富太郎翁が何度か来山された話なども出来ました。獣害や異常気象でお花畑が衰退して久しい山頂ですがシモツケソウ再生地や山頂ドリーネの保護地を覗いて頂き伊吹山本来のあるべき姿をお話しさせて頂きました。もりびとの会の会長と翡翠さんとバツリ出会うと翡翠さんに再生地を案内して頂きました。再生地はあと数日でシモツケソウが咲き揃い、草原がピンクに染まります。

今日は今シーズン一番の人出で駐車場も満車でした。猛暑の平地より10℃前後気温が下がります。

お客様も外界を眺めながら吹き上がって来る風に大喜びでした。この夏は是非伊吹山へ!報告は、C-NA

でした。

2023.07.17 Monday 自然観察会を開催しました



当初は3合目の観察会の予定でしたが、12日の大雨により表登山道が大規模に崩落し、通行止めとなったため、急遽、山頂の観察会に変更したものです。

遠くは、牧野富太郎先生の出身地高知からの参加者もあり総勢17名の観察会となりました。

西登山道から山頂を上がるコースでしたが、通常は40分のところを、2時間かけてゆっくり花を観察しながら登りました。イブキトラノオ、ヤマホタルブクロ、キバナカワラマツバなど見頃な花に加え、キンバイソウ、クガイソウ、

メタカラコウなど色鮮やかな花が咲き出し、賑やかになってきました。今日は梅雨明けを感じさせるような天候で一日中、晴れで、眺望も良く見えました。これから、夏の花が次々開花し、夏本番を迎える伊吹山山頂です。報告は鈴鹿の翡翠と立山の雷鳥でした。

2023.07.19 Wednesday 沓ヶ谷再生地内への作業用具収納BOXの搬入作業の報告です



本日は、シモツケソウ再生地内にパネルを設置する予定でしたが、天候が不安定(am20%・pm60%)との予報であることから中止となりましたが、保全活動での作業が天候不順等で延び延びになっていることから、シモツケソウ再生地内に作

業用具収納BOXの搬送作業を実施しました。

幸い、作業中の雨による障害はありませんでした。多くの登山者から励ましの言葉を頂きました。ありがとうございました。報告は、WAN ちゃんでした。

2023.07.21 Friday 植生調査の報告です。



伊吹山の自然を守る再生協議会青木顧問とともに伊吹山山頂部にて重要植物の調査と保護対象植物の確認会が行われました。メンバーは青木先生を中心に各団体と米原市の担当で7名で、当会からは3名が参加しました。

群落を構成する大規模エリアと希少種、重要種の選定と保護の方法についての意見交換と今後の計画などを時間をかけて話し合いました。

すでに保護枠がかけられた植物については今後の保護観察が重要になってきます。

今日は希少種、重要種の新たな発見もあり改めて伊吹山の豊かな植生、多様性を実感し、今後の保護、再生に可能性を探る糸口が見えてきました。

西登山道のシモツケソウ群落の再生地ではシモツケソウをはじめ夏の花々が次々と咲き始めています。

また山頂のイブキジャコウソウも見ごろを迎えてさわやかな香りを放っています。報告は、C-NA&れいでした。

2023.07.22 Saturday ボランティアガイド

ド事前研修会の報告です



夏のボランティアガイドに向けての事前研修会を行いました。

講師には伊吹山の自然を守る再生協議会顧問の青木繁先生をお招きし、午前中は伊吹山文化資料館で講義、午後から伊吹山山頂で現地研修を行いました。植物の幅広い知識からガイドの心得まで、たくさんのことを学ばせていただきました。青木先生ありがとうございました。悪天候で順延していた再生地のパネル設置も併せて行い

ました。報告は、鈴鹿の翡翠&シャラでした。

2023.07.26 Wednesday エコツアーガイドの報告です。



関東方面からの29名様、お昼回っていましたが皆さん方お元気で、明日中央アルプス駒ヶ岳目指される足慣らし？

山頂で昼食という事で13時過ぎましたが30分の休憩をとり、三角点へ案内。360度の景観に皆さん大満足でした。お二人ほど以前のお花畑の様子知っておられガツクリでした。

報告は、本日ピンチヒッターの立山の雷鳥でした。

2023.07.28 Friday エコツアーガイドの報告です。



今日は関東方面から9名様をお迎えしました。

コースタイムに余裕がありハイキングも休憩もたっぷり時間をかけて楽しんで頂きました。当会のボランティアガイドも今日から始まり西登山道のシモツケソウ再生地では会のスタッフがたくさんの登山者に囲まれて丁寧にガイドしていました。

私が担当したツアーのお客様にはロードさんが再生地の保全活動の流れを説明して下さいました。

帰りの車中ではオオバギボウシやツリガネニンジンが山菜にもなると言う話から山菜、薬草、日本各地の山の食文化にまで話が広がりお客様からも大変興味深いお話も聴く事が出来ました。こんな時間がガイドにとっても大きな勉強の機会でもあり次のガイド活動に繋げて行きたいと思っております。ありがとうございました。

報告は、C-NA でした。

2023.07.29 Saturday ボランティアガイド2日目の報告です



シモツケソウが見頃で西登山道を登って来られたお客様は、シモツケソウ再生地前で足を止め、シモツケソウを始め、メタカラコウ、ルリトラノオ、シシウドなど色鮮やかな花が咲くお花畑の花を見入っておられ

ました。西登山道のシモツケソウ再生地のお花畑の見頃はしばらく続きます。暑い下界から涼を感じるため約8度低い天上のお花畑、伊吹山山頂にお越し下さい。報告は、鈴鹿の翡翠でした。

2023.07.30 Sunday ボランティアガイド3日目の報告です



日曜日という事もあり、大勢の方が山頂を目指しておみえでした。シモツケソウ再生地の花が目に入ると、多くの方から感嘆の声が漏れます。夏の花が花盛りです。会員3名で、花の名前、再生地の花の推移等を説明させていただきました。報告は、れいでした。

2023.07.30 Sunday エコツアーガイドの報告です。



本日は、九州からの27名様をお迎えしました。気温は20℃風があり時折曇りも出て歩きやすい伊吹山でした。

咲き始めたサラシナショウマやクガイソウ、ルリトラノオがとても爽やかでさらにイブキジャコウソウの香りを存分に楽しんで頂きました。今、再生地の花がシモツケソウを始めメタカラコウやコオニユリルリトラノオなどが満開です。微かに見えた琵琶湖や麓の風景にもご満足頂けたようで何よりでした。伊吹山は足慣らしで明日から上高地

と千畳敷との事、そのまま私もついて行きたいと思いつつバスを降りてお別れしました。どうぞまた足慣らしにいらして下さいね。報告は、C-NAでした。

2023.08.01 Tuesday ボランティアガイド5日目の報告です

月始めの1日のためか、登山者は少ない日でした。

西登山道のシモツケソウ再生地の花はシモツケソウをメインに夏の花が全て咲き揃いました。皆さん、是非、伊吹山へお越しください。報告は、立山の雷鳥でした。



2023.08.02 Wednesday ボランティアガイド6日目の報告です



天気は良くて山頂は心地よい気温で快適な環境でした。平日の中日のためか、来山者はそれほどの混雑ではなかったのですが、途切れることなく西登山道を登って来られる皆さんに満開が近づきピンクの絨毯となって来ているシモツケソウなどの花々をガイドしました。その他の花は瑠璃色が綺麗な伊吹山固有種ルリトラノオ、オレンジ色が綺麗なコオニユリ、黄色の絨毯となっているキオンの大群落です。報告は、シャラでした。

2023.08.03 Thursday ボランティアガイド7日目の報告です

本日は、夏休み中の親子連れは良く目にしましたが、登山者全体としては少ない印象でした。南風がさわやかな一日でした。シモツケソウの見頃は続いています。報告は、立山の雷鳥でした。



2023.08.04 Friday ボランティアガイド8日目の報告です



お天気は良くて山頂は心地よい気温で快適な環境でガイドができました。来山者はそれほどの混雑ではなかったのですが、伊吹山の花情報を前もって調べて来られた熱心な登山者が多く、再生地でほぼ満開となってきましたシモツケソウなどの話に聞き入ってくださいました。報告は、シャラでした

2023.08.05 Saturday ボランティアガイド9日目の報告です。

午前の早い時間はガスに覆われていましたが、徐々に南風に流され、眺望が利く時間が長くなり、シモツケソウ再生地前では、琵琶湖を背景にお花畑の写真を皆さん撮影されていました。花はシモツケソウ、メタカラコ



ウ、コオニユリ、ルリトラノオと夏の主役の花々が見頃ですが、サラシナショウマ、シオガマギク、アキノキリンソウなど秋の花も咲き出しました。今日は一日、心地よい風が吹き、気持ちの良い伊吹山頂でした。報告は鈴鹿の翡翠でした。

2023.08.06 Sunday ボランティアガイド最終日の報告です。



午前中は濃い濃霧でしたが日曜日ということ、次々と登山者がありました。シモツケソウ再生地では、お昼頃には時々、竹生島まで見える景色に皆さん大満足、山頂部風が強く、ここで引き返す人もおられました。伊吹山の自然を守る再生協議会顧問の青木先生とも出会いがありました。

報告は、立山の雷鳥でした。

2023.08.11 Friday 山の日イベントの報告について



7年目となる伊吹山ドライブウェイさんの事業「山の日」特別ボランティアガイドに協力させていただき、当会の会員が西登山道の入口やシモツケソウ再生地で夏の花のガイドブックの配布や花のガイドを行いました。3連休の初日ということもあり、家族連れをはじめ多くの登山者で賑わい、花や景色で伊吹山を楽しんでおられました。

早朝から青空が広がり、ピーカン晴れの日で、琵琶湖をはじめ御嶽、乗鞍、白山など遠くの山々もくっきり見え、眺望は最高でした。花は、伊吹山の固有種ルリトラノオは見頃が続いています。秋の花の主役の一つであるサラシナショウマは大分、花が目立ってきました。ツリガネニンジン、シオガマギクなど秋の花も開花してきました。報告は鈴鹿の翡翠でした。

伊吹山ネイチャーネットワーク

2022年10月に滋賀県笹又登山道に鹿防護柵を設置、今春より柵の保全とあわせて柵内の植生を調査することとなりました。調査はいずれもネット柵の外側から目視確認で行いました。

8月中旬の段階での中間報告を今回行います。

マネキグサの生育状況

マネキグサの保護は今回の防護柵設置の目標のひとつです。5月調査時点から若葉の成長がみられ、8月19日調査では、20株前後のマネキグサの株を確認。株の高さは20cm前後で、大きいとまではいきませんが、その多くの株が開花していました。2020年から開花株の確認が出来ていなかったので、柵設置の効果が、まずはあったと考えられます。



柵の外フッキソウ群生の中にも数株のマネキグサが今年も顔を見せています。高さのない株で葉の色の淡い個体ですが、開花には至っていません。今のところ鹿による食害はありません。

イブキレイジンソウの生育状況

これも柵設置の目標のひとつでした。8月19日調査で、根生葉らしき葉を数株確認したものの、調査員の力量不足で、イブキレイジンソウと断定出来ずにいます。ご教授ください。



その他の生育状況

ヤマブキソウ (ホソバ)

春は柵の外で開花確認。写真は8月19日調査時秋咲き個体を柵内で一株確認。



ヤマトグサ 春に柵のすぐ外で開花株確認。生育株は柵内でも確認している。



ワチガイソウ 5月9日に開花株確認。

数株のみ。個人的には2012年5月静馬ヶ原以来の確認でとても興奮しています。

【柵の緊急補修の必要】

山側にあった枯れた大木が、8月15日の台風7号で、倒れたようです。ネット柵が大きく圧迫されています。このままでは、鹿の侵入もありうるため、早急に倒木の撤去が必要です



(文章責任：中井宏行)

笹又登山道 鹿防護柵区の植生調査 植物一覧表 中間報告

伊吹山ネイチャーネットワーク(中井宏行)

				調査日 2023年					
種名 (※レッドデータ対象種)	開花	被度	群度	5月2日	5月9日	6月17日	8月19日		
アオイスミレ		1	1			葉	葉		
アカショウマ?		1	1				葉		
アカソ(白花種含む)	819	1	1			若葉	開花		
アカヒダボタン	502	1	1	開花	開花	果実期			
アケボノソウ		1	1			若葉			
アブラチャン		2	1	花後若葉	花後若葉	葉	葉		
イタヤカエデ(アカイタヤ?)	502	2	1	咲き始め	咲き始め	葉	葉		
イチリンソウ	502	1	1						
イヌタデ		1	1				つぼみ		
イヌトウバナ	819	1	1				開花		
イブキレイジンソウ? ※		1	1			若葉	葉		
ウツギ		1	1				葉		
ウバユリ		1	1	若葉	若葉				
ウマノアシガタ	617	1	1	つぼみ	つぼみ	残り			
ウリノキ		1	1			若葉	葉		
ウワバミソウ		1	1			葉	葉		
エノコログサ		1	1						
オオイタヤメイゲツ	502	5	2	咲き始め	咲き始め	葉	葉		
オオイヌノフグリ		1	1	花後	花後				
オオバノイノモトソウ		1	1				葉		
オオマムシグサ	617	1	1				果実期		
オトギリソウ	819	1	1			若葉	花・果実		
オニシバリ		1	1	つぼみ	つぼみ	葉			
カタバミ	819	1	1				開花		
カヤ(チャホガヤ?)		2	1	つぼみ	つぼみ	葉	葉		
キクムグラ	617	1	1	若葉	若葉	開花			
キバナカワラマツバ?		1	1	若葉		葉			
キブシ	502	2	1	咲き始め		葉			
キンミズヒキ	819	1	1				開花		
クルマバナ		1	1			葉			
クルマムグラ	617	1	1			開花	開花後半		
ゲンノショウコ(白花)	819	1	1				開花		
コタニワタリ?		1	1	若葉					
ゴマギ		1	1			葉			
コンロンソウ		1	1	若葉	若葉	葉			
ササSP		1	1			葉			
サワギク	617	1	1	若葉	若葉	開花			
サワシバ	509	1	1		開花	果実			
ジシバリ	617	1	1	若葉		開花	残花		
シダ?2イノデ?		1	1	若葉					
シナノキ		2	1			つぼみ	果実期		
シモツケソウ ※		1	1						
ショウジョウスケ		1	1	若葉					
シロヨメナ	819	1	1				開花		
スズメノカタビラ	502	1	1	開花	開花	開花			
ゼニゴケ?		1	1	葉					
ダイヤモンドソウ?		1	1			若葉			
タチイヌノフグリ	502	1	1	開花	開花	開花			
タチツボスミレ	502	1	1	開花	開花				
タニソバ		1	1						
タニタデ?		1	1				葉		

種名 (※レッドデータ対象種)	開花	被度	群度	5月2日	5月9日	6月17日	8月19日		
ツメクサSP	617	1	1	若葉		開花			
ツルアジサイ		1	1	若葉	若葉				
ツルニガクサ	819	1	2				開花		
ツルリンドウ?		1	1	若葉					
トウバナ	617	1	1			開花	果実期		
ナガエノコナスビ	617	1	1				葉		
ナガバモミジイチゴ?		1	1	若葉					
ナギナタコウジュ		1	1				葉		
ニシノモンモンジスゲ?	502	1	1	開花					
ニリンソウ	502	1	1	開花	開花	葉			
ハナタデ		1	1				つぼみ		
バライチゴ	819	1	1			若葉	花・果実		
ヒトリシズカ	502	1	1	開花	開花	果実			
ヒメジョオン	617	1	1	若葉	若葉	開花			
ヒメムカシヨモギ		1	1				葉		
フジテンニンソウ?		1	1	若葉	若葉				
フタバアオイ		1	1	若葉	若葉	葉			
フッキソウ	502	3	3	開花	終盤	葉	葉		
ホソイ		1	1				花・果実		
マネキグサ※		1	1	若葉	若葉	葉	開花		
マユミ	617	2	1	つぼみ	つぼみ	開花	葉		
ミミナグサ	502	1	1	開花	開花	残り			
ミヤマカタバミ	502	1	1	開花		葉	葉		
ミヤマハハソ		2	1			つぼみ	葉		
ムカゴイラクサ	819	1	2				開花		
ヤブヘビイチゴ	617	1	1			開花果実	花・果実		
ヤマガラシ	617	1	1	若葉		終盤			
ヤマシャクヤク ※		1	1	若葉	若葉	葉			
ヤマトグサ ※		1	1	若葉	若葉	葉			
ヤマネコノメソウ	502	1	1	開花	終了				
ヤマブキソウ(ホソバ) ※		1	1	若葉	若葉	果実	秋咲き		
ヤマミズ		1	1				咲き始め		
ユリノキ		1	1				葉		
ユリワサビ		1	1	若葉	若葉	葉	葉		
ヨモギ		1	1			葉	葉		
ワチガイソウ※	509	1	1	つぼみ	開花	終了			
(参考)保護区の周辺									
参考オオカメノキ	502	—	—	開花		葉			
参考クサタチバナ	617	—	—			開花			
参考ヤマシャクヤク ※		—	—		若葉10株	葉			
参考ヤマトグサ ※	509	—	—		開花	終了			
参考ルイヨウボタン	502	—	—			果実			

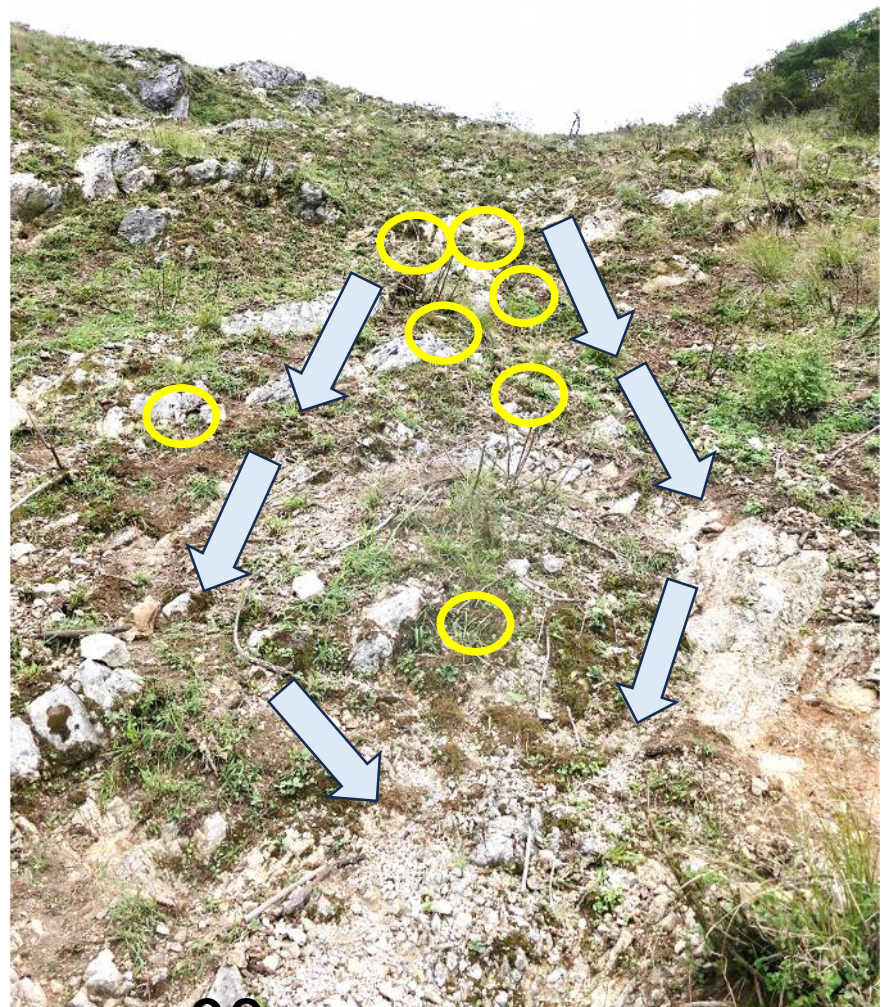
笹又登山道は、乾燥化が進み道が不明確なほど荒れています。ヒナノキンチャクの生育する谷（窪地）も水が流れ大きくえぐれた跡があります。ヒナノキンチャクは開花時期を迎えていました。株の高さは5 cm前後と小さく枝の分枝も少ないようです。目を皿のように探して、ようやく7株確認しました。



先日の台風7号でさらに悪化したようです。



昨年会として、水の流れを変えてヒナノキンチャクの株を守る杭（竹製）を打ちました。少し効果があったようです。今回発見した7株のほとんどが、谷の中央に集まっています。この左右に水の流れています。



【今後の提案】

この株の上部に、水流を防ぎ左右に水を流すための柵か何かの設置ができないでしょうか。可能なら鉄製で。

(文章責任：中井宏行)

ユウスゲと貴重植物を守り育てる会 活動報告

2023.8.25

【2023年事業の実施状況】

(1)伊吹山3合目獣害防止ネットの点検、維持補修、植生保全等

○作業内容 ・ネットの損傷点検、補修、ネット際・観察路の草刈り、・ネット内のススキ、ワラビ、スイバ、フジテンニンソウ等の雑草除去、昨年度設置の金属柵内のススキ刈取り、秋の全面刈り

○作業日 ・ネット引き上げ 3月9日、15日(昨冬少雪のため、昨年より1ヶ月早い活動スタート)
・ネットの点検、ネット際の草刈り、金属柵内のススキ刈取り等 4月~9月の原則毎週木、日曜
・ネット内の全面刈り 11月予定

(*2022年 合計実作業人数 208人日)

【課題など】

・設置10年を経過し劣化した樹脂ネットを順次金属柵に張替え必要(総延長約900m)



3月9日ネット引き上げ



3月15日カタクリネット張替



5月18日フジテンニンソウ除去



6月1日ススキ刈取り

(2)金属柵の新設

(株)資生堂様の支援により3合目の既存の樹脂ネットの一部100mを金属柵に更新(5/24)

設置作業は、資生堂の社員皆様とともに設置。



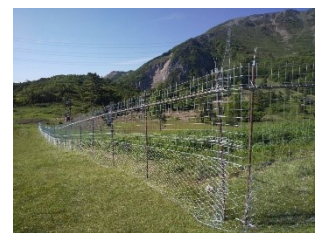
樹脂ネットの撤去



支柱の打ち込み



金属網の取り付け



金属柵設置完了

2022年9月にも延長180mの金属柵新設の支援あり、その後の調査で植生回復を確認。



戻ってきたユウスゲの花



オオナンパンギセル



イブキフウロ



コバギボウシ

(3)植物観察会の開催

○次のとおり三合目で毎月観察会を開催。

開催日	参加者	観察できた主な花
4月16日	17人	アマナ、イカリソウ、イブキスミレ、ウスバサイシン、エイザンスミレ、エンレイソウ、カタクリ、スハマソウ、エビネ、ニリンソウほか約20種
5月21日	10人	イブキノエンドウ、エゾノタチツボスミレ、オドリコソウ、カキドオシ、カナビキソウ、クサタチバナ、チゴユリ、フタリシズカ、ホタルカズラなど約30種、
6月25日	19人	イブキトラノオ、オカタツナミソウ、カラマツソウ、キバナノレンリソウ、クサフク、クルマバナ、ササユリ、スズサイコ、タカトウダイ、ハクサンフウロ他約20種

【今後の予定】土砂災害による登山道通行禁止措置等のため7月23日~25日のユウスゲまつり及び8月20日ともに中止。9月24日、10月15日開催は未定



4月16日ニリンソウ



5月21日アヤメ



6月25日ハクサンフクロ



6月25日スズサイコ

(4) ユウスゲまつり ⇒ 土砂災害のため開催中止

米原市と共催で「ユウスゲまつり」を例年7月開催 今年は7月23日(日)~25日(火)の3日間予定
参加者予定者 125名(申込み受付3日目で定員超過)

会場: 伊吹山3合目 アルプホルン・オカリナ演奏、萩原浩司さん講演、植物観察会。

(5) 植生調査

3合目の獣害防止柵内の植生調査を植物の専門家の指導の下に実施。また植生の推移を調べるため3か所で2m四方の定点調査実施。

- ① 5月9日 オドリコソウ柵(昨年新設の金属柵)内の調査 76種
- ② 5月21日 ユウスゲ柵内の調査 127種
- ③ 6月25日 ユウスゲ柵内の調査 128種
- ④ 8月24日実施予定



(6) 学校の環境学習支援

- ① 学校登山同行、ガイド

伊吹小学校(6/5、16)、春照小学校(5/31)、伊吹山中学校(6/13)、大東中学校(6/2)
大阪市常翔学園中学校(5/23)

【今後の予定】⇒開催中止 岐阜JC主催岐阜市内の小学生50人(7/15)

- ② 伊吹山学習など座学

米原市内の小中学校で実施

(7) 花だよりの発行

〇4月~7月に毎月発行。2,000枚。⇒8月以降は中止
上野区全戸、市内の公共施設、インフォメーションセンター配置。米原市HP掲載 JA伊吹支店に掲示

〇内容 季節の花紹介(解説付き)
トピックスなど



令和5年6月号表面



令和5年6月号裏面

(8) 牧野富太郎と伊吹山パネル展の開催

(伊吹薬草の里文化センター、伊吹山文化資料館と共催)

日時: 2023年7月12日~23日

場所: 伊吹薬草の里文化センターgallery かくとだに



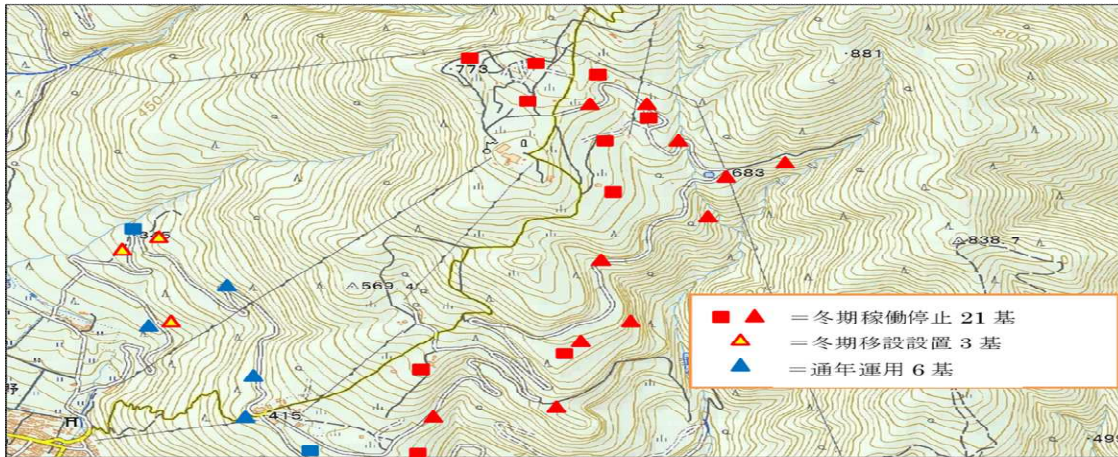
令和4年度 伊吹山ニホンジカ捕獲実績

資料5

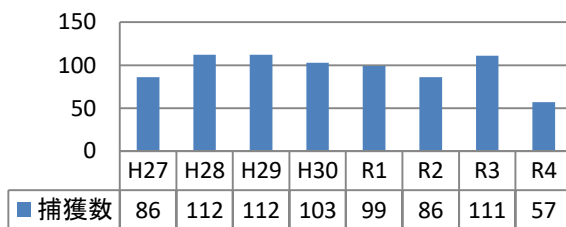
捕獲箇所： 登山口から3合目までの林道沿い
 捕獲方法： 箱わな15基、囲いわな12基

(画像1)

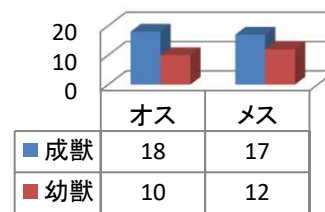
わな位置図 (冬期)



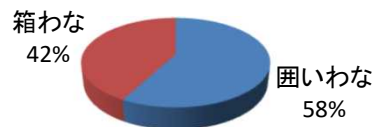
年度別捕獲数



雌雄別捕獲数



わなの種類別捕獲割合



1基あたりの捕獲数
 囲いわな 2.75頭/基
 箱わな 1.6頭/基

令和5年度 伊吹山ニホンジカ捕獲計画

5合目 ドロップネット設置 (幅18m、奥行18m、高さ3m)

設置前



設置完了

